

Title	革新的医薬品の開発特性とイノベーションのパターン
Sub Title	
Author	大久保隆弘(Ookubo, Takahiro) 古川公成
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1990
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1990年度経営学 第741号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001990-0741

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	大久保隆弘 (中外製薬株式会社)	主査	古川 公成
		副査	小野桂之介 柴田 典男
所属	古川 公成 研究室		

革新的医薬品の開発特性とイノベーションのパターン

本研究は国内外の革新的医薬品開発事例37件を対象に、37件の成功事例における開発上の特性を把握し整理・分類した上で、①イノベーションの戦略と開発過程の性質によるイノベーションのタイプとの関係を確認し、②開発過程の性質によって分類したイノベーションのタイプ別に開発特性が異なることを示し、③そのイノベーションのタイプ別にマネジメントのあり方が異なることを示すことにより、マネジメントの視点から医薬品のイノベーションの戦略から開発達成までの一連のプロセスをパターン化することを目的とする。研究開発志向の強まる医薬品業界の現状において、技術とマネジメントの整合性のとれたR&Dが必要であるとの問題意識によるものである。

本研究では医薬品の革新的開発事例37件のそれぞれの開発経緯の調査の上、イノベーションの戦略（攻撃的戦略、防御的戦略、模倣的戦略）と開発過程の性質によるイノベーションのタイプ（計画的なイノベーション、余裕のイノベーション、窮迫下のイノベーション）に一定の関係があるとの推定を行った。そしてそれぞれの戦略、タイプ別に開発事例を分類することで両者の関係を示すことを試みた。次にイノベーションのタイプによってマネジメントに影響を与えると考えられる開発上の特性が異なることを推定し、3つのタイプ別に37件の事例を分類した。さらにイノベーションのタイプによって実際に行われたマネジメントが異なることを推察し、インタビュー調査を主体としてマネジメントが実際に異なることを確認した。

この研究結果は、画期的な医薬品の開発成功事例には戦略、技術、マネジメントに一定のパターンが存在することを示唆している。